

<p>※公共施設のあり方検討に関する詳しい内容は、市公式ホームページのトップバナー「公共施設マネジメント」をクリック！</p>	<p>H27</p> <p>「公共施設マネジメント基本条例」の制定</p> <p>「公共施設マネジメント推進委員会」の設置（学識経験者で構成）</p> <p>小学校区単位などで「あり方を考える市民説明会」を開催中</p>	<p>H26</p> <p>議事に「公共施設あり方検討特別委員会」を設置</p> <p>小学校区単位で「あり方計画（案）説明会」を開催</p>	<p>H25</p> <p>「高浜市公共施設あり方計画（案）」の作成</p> <p>耐用年数の長寿命化、コストの平準化を考慮した保全スケジュールなどのアクションプラン（実施計画）をとりまとめるため、「公共施設保全計画」の策定に着手</p>	<p>H24</p> <p>白書をもとに市民・有識者を交えた「高浜市公共施設あり方検討委員会」にて公共施設の今後のあり方の方針案を検討</p> <p>↓今後の方針や複数の改善案について提言が提出される</p>	<p>H23</p> <p>公共施設の現状をとりまとめた「高浜市公共施設マネジメント白書」の作成</p>
---	---	--	--	---	---

■高浜市がめざす公共施設の姿

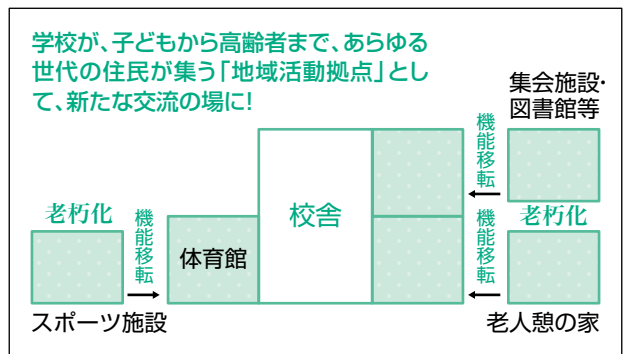
現行ある施設以外に、新しい公共施設はつくらない！

「学校」を地域コミュニティの拠点と位置付け、他の施設との複合化を視野に入れた施設の改修・建替えを実施し、将来にわたり持続させる。

学校の大規模改修・建替えスケジュール（予定）

学校名	大規模改修	建替え
高浜小学校	—	H29～H31
吉浜小学校	H33～H34	H50～H51
高取小学校	H31～H32	H46～H47
港小学校	H37～H38	H55～H56
翼小学校	H48～H49	—

▼高浜小学校 複合化のイメージ



学校名	大規模改修	建替え
高浜中学校	H35～H36	H53～H54
南中学校	H39～H40	H59～H60

※大規模改修とは、老朽化した建物の物理的な不具合を直し、建物の耐久性を高めることに加え、建物の機能・性能を現在の学校が求めている水準まで引き上げる改修を行うこと。

■「公共施設あり方計画（案）」（平成26年6月策定）では…

改善項目①
耐用年数の長寿命化

施設の計画的な大規模改修や適性な維持管理による施設の延命化

大規模改修を35年
建替えを70年で実施

+

改善項目②
総量の圧縮

運営形態の見直し、施設機能の複合化・集約化

延床面積37.7%の総量圧縮

→

施設のさらなる総量圧縮や計画の前倒し実施、行政サービスの見直しなどが必要！

道路、橋りょうなどのインフラ維持に向けた更新費用の確保も考慮に入れると…

どんな機能をどのタイミングで複合化していくかは、今後、市民の皆さんと意見交換しながら、具体的な検討を深めます。

これからは「縮充」の時代

今回の新庁舎建設にあたっては20年間のリース契約を結んでいますが、あらかじめ期間設定をした事例は今まで皆無でした。20年後には、人口・経済が大きく変わっている予想されます。その時の社会のあり方などをふまえて、考え直せるということが、今後は大切になってきます。

「縮充」とは単純な面積圧縮ではなく、コンパクトにする代わりに稼働率を上げ、市民がより集うことができる場をつくる、運営の身を充実させることをめざしています。実は、公共施設の稼働状況を見てみると、決して高いとはいえません。例えば、学校のプールや特別教室、図書館の貸出カード所有率はどのようでしょうか。

見直しを機に、夢を描ける場に

ある自治体では、図書館を地域ぐるみで子育てを支援する場として活用できないかと考え、絵本を読みながら寝ころぶことができる場をつくりました。面積圧縮し暗い話ではなく、発想を転換し「ここに来たら楽しい！」と思えるような場づくりに向けて、市民・行政がともに知恵を出しあい、取り組んでいくことが望まれます。

次号では、図書館や体育センターなど、学校以外の主要公共施設の現状と現在の検討の方向性を紹介する予定です。